



化学会発

企業現場見学会 2019 参加学生を募集します

産学交流委員会 人材交流小委員会

はじめに

産学交流委員会 人材交流小委員会では学生会員と法人会員とをつなぐ場として『企業現場見学会』を実施しています。本稿では今年度のプログラムを紹介します。

企業現場見学会の特徴と対象

化学産業は日本を支える重要な産業です。実際、化学産業の付加価値額 17 兆円、研究費 2.6 兆円 (2016 年) は日本の産業界で輸送用機械器具に次いで 2 位の位置にあります。

このような化学産業の現場である工場や研究所を見学し、さらにそこで働く企業の方と交流する機会を持つことは、化学分野の研究者、技術者を志す学生にとって、進学や就職を考える上での重要な判断材料となることは間違いありません。例年、参加した学生からは、「少人数で社員の方とお話ができ、企業への理解がより深まった」「研究所見学で、滅多に見ることができない研究の現場を体感できた」といった満足度の高いコメントを多数いただいています。



今年のラインナップ

今年度は、次の 5 社が現場見学を行う予定です。それぞれの現場見学の概要をお知らせします。詳細は、下記ウェブサイトをご確認下さい。

URL : <http://www.chemistry.or.jp/event/sangakuEvent/>

〈日本ゼオン株式会社〉

日程：9月4日(水)13:30~17:00

会場：総合開発センター(神奈川県川崎市)

日本ゼオンは、原油から分離されたナフサをさらに精製して作られる C4、C5 留分を中心とした研究開発を通して、合成ゴムや樹脂などの素材を生み出しています。これらはタイヤ、レンズ、液晶など、皆さんの身近にある多彩な製品に利用されています。

今回は神奈川県川崎市にある総合開発センターにて、当社の主要製品の 1 つである合成ゴム等の研究過程を見学いただくとともに、研究員との交流を通じて、素材開発の面白さと、そこから広がる新しい可能性を感じていただきたいと思います。

〈花王株式会社〉

日程：9月10日(火)12:30~16:30

会場：和歌山工場・エコラボミュージアム(和歌山県和歌山市)

1887 年の創業以来、花王は「よきモノづくり」を愚直なまでに追求してきました。地球環境や社会に配慮した取り組みを進め、花王はこれからも暮らしに変化を提供し続ける企業でありたいと考えています。

今回は、1942 年に設立した和歌山工場で見学会を行います。ここはグループ最大の研究・生産拠点で、シャンプー、リンス、衣料用洗剤といった家庭用製品から多種多様な工業用製品まで生産しています。家庭用製品の生産工程や、エコテクノロジーリサーチセンター 1 階にあるエコラボミュージアムを見学し、創業より続く「絶えざる革新」の歴史について、理解を深めていただきたいです。

〈東ソー株式会社〉

日程：9月20日(金)13:00~17:00

会場：東京研究センター(神奈川県綾瀬市)

東ソー東京研究センターにて、会社の説明、研究所見学を予定しています。詳細は、ウェブサイトにてご案内予定です。

〈株式会社ダイセル〉

日程：9月20日(金)13:00~17:00

会場：ダイセル イノベーションパーク(兵庫県姫路市)

ダイセルは 2019 年に 100 周年を迎えます。一貫して「モノづくり」にこだわり続け、化学をベースに化学を超える会社としてユニークな製品を社会に提供してきました。

「ダイセル式生産革新」を構築するとともに『ベストソリューション』実現企業を目指しグローバルに展開しています。ぜひ『元気のいいダイセル』を身近に感じて下さい。

〈三菱ケミカル株式会社〉

日程：9月26日(木)13:30~16:30

会場：Science & Innovation Center(神奈川県横浜市)

三菱ケミカルは未来の KAITEKI を生み出すために日々ものづくりの革新に挑戦しています。

その中で、Science & Innovation Center は材料設計・合成・解析技術など化学全般の基幹技術を有し、直近のニーズに応える開発から将来技術開発まで、幅広い活動を展開しています。

今回は私たちの保有技術の紹介や研究所見学を行います。また、研究者との座談会を通して、より深く SIC の現場を知ってもらえればと思います。

おわりに

普段見ることのない工場・研究所を実際に見学する絶好の機会となりますので、学生会員の方は、ふるってご参加下さい。ウェブサイト等での開催情報掲載はまだ可能ですので、見学会開催をご希望の会員各社様は 7 月末までにご連絡下さい。

E-mail: sangaku@chemistry.or.jp

〔人材交流小委員会委員長 高村岳樹
(神奈川工科大)〕

© 2019 The Chemical Society of Japan